

# ライフゼム型 空気呼吸器用

## パージ・レスクマスク



## パージ・レスクマスクボディ

### 取扱説明書

ご所有の空気呼吸器にパージ・レスクマスク（又はパージ・レスクマスクボディ）を取り付けていただき、パージ・レスクマスク付き空気呼吸器としてご使用ください。


〈本文中の注意について〉

「警告」「注意」の表示は特に重要な部分ですので必ず守ってください。


 <b>警告</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

#### 1. 特長

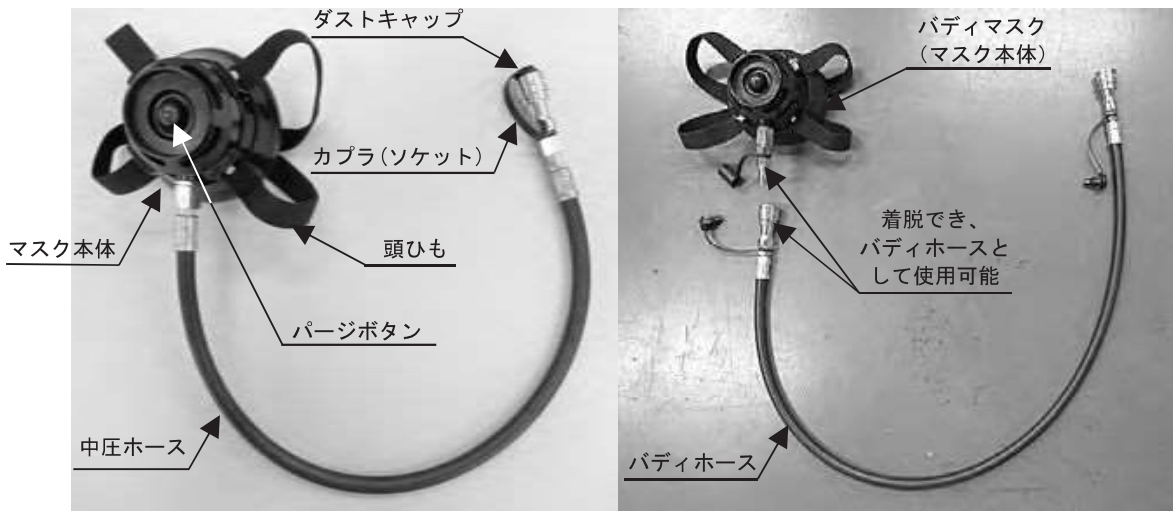
パージ・レスクマスク（又はパージ・レスクマスクボディ）は、火災現場等の災害現場で、要救助者に新鮮な空気を与えながら救助することができます。

 <b>警告</b>
パージ・レスクマスク（又はパージ・レスクマスクボディ）は、自発呼吸のできない要救助者には使用できません。

着装者の呼吸に応じた空気の供給に加え、パージボタンを押すことで新鮮な空気をマスク内に供給します。着装前にパージボタンを押すと、マスク内の煙や有害な環境ガスをマスク外へ追い出す効果があります。

 <b>警告</b>
パージボタンを押すと空気は出ますが、自発呼吸のできない要救助者の呼吸を補助・支援するものではありません。

## 2. 各部の名称



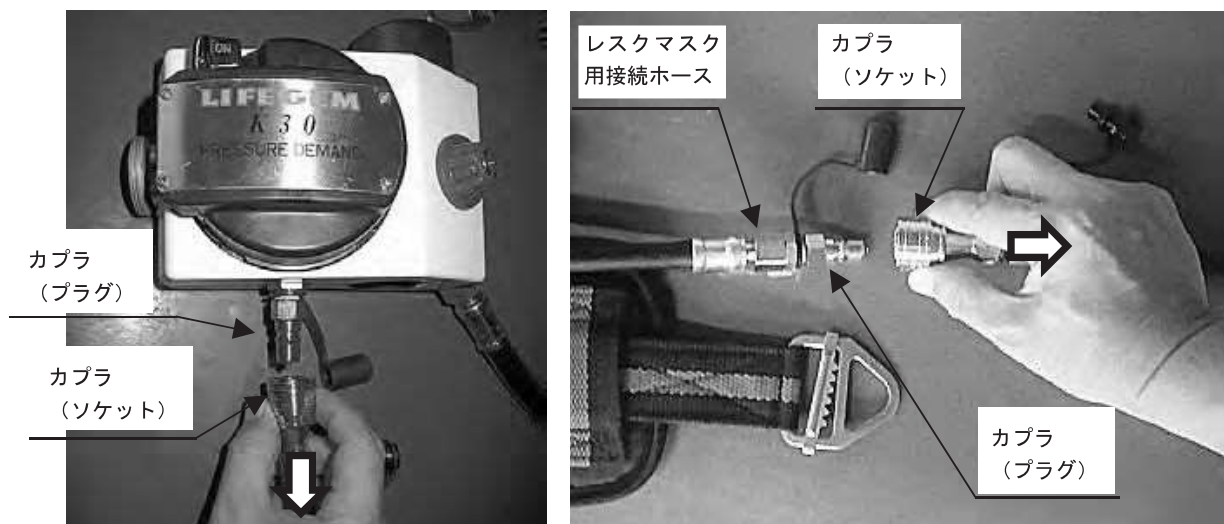
① パージ・レスクマスク

② パージ・レスクマスクボディ

写真1. 各部の名称

## 3. 中圧ホース（又はボディホース）への取り付け

- 1) カプラ（ソケット）のリングを動かして、調整器（ライフゼムKシリーズ）のレスクマスク用コネクター（プラグ）もしくはレスクマスク用接続ホース（プラグ）に取り付けてください。接続した箇所が外れないことを、中圧ホースを引っ張って確認してください。



① ライフゼム K シリーズ

② ライフゼム L、M、Z、A1 シリーズ

写真2. カプラの取付け

- 2) 要救助者にマスクをかぶせるか、あるいは口にマスクをあてがってください。

※要救助者の呼吸に応じてパージ・レスクマスク（又はパージ・レスクマスクボディ）から空気を供給します。



①マスクをかぶせる



②マスクをあてがう

写真3. 着装方法

4. バディホースとして使用する場合（パージ・レスクマスクバディの場合）

- 1) マスク本体をバディホースから分離する。
- 2) バディホース両端のカプラ（ソケット）を各呼吸器の調整器のカプラ（プラグ）に接続してください。調整器のカプラ（プラグ）はオプション品です。

これで、二人とも同時に呼吸が可能です。



写真4. バディホースとして使用する場合

5. 使用前点検

呼吸器とあわせて使用前点検を行ってください。

- 1) それぞれが正しく接続されていることを確認する。
- 2) 呼吸器のボンベのそく止弁を開ける。
- 3) マスク本体から空気が漏れる音がしないことを確認してください。
- 4) マスク本体を点検者自身の口（と鼻）にあてがい、数回大きくあるいは小さく呼吸し、呼吸が出来ることを確認してください。
- 5) パージボタンを押して空気が出ることを確認してください。
- 6) 頭ひもを手で引っ張り、十分に伸縮することを確認してください。
- 7) 中圧ホース（又はバディホース）は、湾曲させて、ホース表面にひび割れが発生していないことを確認してください。



## 警告

使用前の点検時に異常がある場合はそのまま使用しないでください。事故の原因となります。  
異常があるものは、販売店に連絡してください。

### 6. 使用上の注意



## 注意

パージ・レスクマスク（又はパージ・レスクマスクボディ）を着装し2名で避難する場合、2人分の空気が消費されます。（残りの使用時間は、おおむね1人のときの半分になります）  
使用中はボンベ残圧の確認の頻度を増やしてください。



## 注意

機器を投げたり落としたり、強い衝撃を与えないでください。  
破損して正常な機能を保てなくなります。

空気呼吸器のご使用後に、パージ・レスクマスク（又はパージ・レスクマスクボディ）を空気呼吸器から取り外した時、本体と中圧ホース部分に圧縮空気が残る場合があります。圧縮空気を抜くために、ダストキャップ取り付けるか、パージボタンを押してください。（中圧ホースの空気を抜かずにはレスクマスクを放置しておく、故障の原因になります。）

使用後は、各カプラにダストキャップを取り付けてください。

70℃以上または-20℃以下の使用環境では使用しないでください。（火災現場をのぞく）  
正常な機能や安全を保てなくなります。

### 7. 使用後の手入れ

- 1) マスク本体は微量の中性洗剤を溶かした水溶液を柔らかい布につけて汚れを拭き取ってください。洗浄中にマスク内に水が入らないように作業してください。水が入ると故障の原因となります。
- 2) 柔らかい布で水分を拭き取って風通しの良い日かげで乾燥してください。



## 注意

直射日光、ストーブなどのそばで、乾燥・保管しないでください。ゴム、プラスチック部品の劣化が早まり故障の原因となります。

製造元

**エアウォータ防災株式会社**

総発売元



株式会社 **重松製作所**  
SHIGEMATSU WORKS CO., LTD.

[www.sts-japan.com](http://www.sts-japan.com)

G09-1-344-0-2303